東京 2020 パラリンピックを終えて…代表 4 選手にインタビュー

interview

女子トラック・ロード
C3 クラス※（二輪自転車）

すぎうら けいこ
杉浦 佳子

Paracycling

大会を終えて
コロナ禍で大会が開催されるか分からない中、不安もありましたが、山陽小野田市のみなさんから応援してもらえているという安心感に背中を押してもらえました。今ではここは第二の故郷のような気がしています。金メダルをとれたのも、多くの方の声援のおかげです。本当にありがとうございました。今回の交流会では、子どもたちが金メダルを見て喜んでくれて嬉しいです。自分も何かに挑戦したいと思ってくれたらさらに嬉しいですね。

これからの抱負
今大会に向けては、持久力や心肺機能を高めるようなトレーニングを重ねたほか、コーナリングなどのテクニックを高める練習も積んできました。3 年後に向けては、今大会の反省点をクリアして、また何かを更新したいと思います。

interview

男子トラック・ロード
C3 クラス※（二輪自転車）

ふじた まさき
藤田 征樹

Paracycling

大会を終えて
大会まで山陽小野田市の山陽オートレース場で調整し、きつい練習の中でも、美味しい食事をいただき、しっかりと準備をして大会に臨むことができました。メダルを持ち帰ることができなかったのは心残りではありますが、無事に最後まで走りきることができました。多くの市民のみなさんの応援が、苦しい本番で力になり、感謝しています。応援ありがとうございました。

これからの抱負
今大会の反省を踏まえ、もう一度足元を固めて 3 年後へのチャレンジに向かっていきたいです。緊張の中でもいつもどおりのパフォーマンスができるよう心がけたいです。自分たちの姿が、子どもたちの活力の材料になれるよう、頑張りたいと思っています。

interview

男子トラック・ロード
C2 クラス※（二輪自転車）

かわもと しょうた
川本 翔大

Paracycling

大会を終えて
目標としていたメダルには一歩及びませんでしたが、ベストパフォーマンスはできたと思います。コロナの影響で、今までの大会とは違い調整などで難しい面はありましたが、緊張の中でも持てる力をしっかり出せるよう挑むことができたと思います。山陽小野田市のみなさんには、たくさんの応援をいただき大変感謝しています。また、埴生小学校での交流会では、子どもたちからたくさんの質問をいただき、嬉しく思っています。今後もパラサイクリングについてぜひ知っていただき、応援をよろしくお願いします。

これからの抱負
今大会では、海外選手のパフォーマンスも刺激になりました。次の 3 年後を見据え、頑張っていきたいと思います。

interview

女子トラック・ロード
C2 クラス※（二輪自転車）

ふじい みほ
藤井 美穂

Paracycling

大会を終えて
私は今回初めてパラリンピックに出場しました。緊張もありましたが、楽しみながらレースに臨むことができました。500m タイムトライアルでは自己ベストを出すことができ、いい経験になりました。大会の中では、海外の選手とも交流することができ、良い経験ができたと考えています。山陽小野田市の山陽オートレース場では、いつも美味しい食事を提供していただき、苦しい練習も頑張ることができたと思っています。また、埴生小学校の子どもたちと交流もでき嬉しく思います。山陽小野田市のみなさんには、いつも温かい声援をいただきありがとうございました。

これからの抱負
今回の経験を生かし、3 年後に向かっていきます。さらに練習を積み、強くなりたいです。

※ C クラスとは、切断、機能障がい、麻ひなどの障がいの選手が出場し、障がいの程度により C1 ～ C5 に分類されます。